

福山コンが業務連携、位置情報ベンチャーと

2018/9/18 東京

福山コンサルタント（福岡市、福島宏治代表取締役社長）と同社の純粋持ち株会社であるSVI研究所（東京都文京区、伊藤将司代表取締役社長）は9月14日、リクルートと電通のジョイントベンチャーであるログウォッチャー（東京都中央区、戸田洋平代表取締役）と業務連携することで合意した。3社は位置情報などを基に集積したビッグデータを活用し、人口減少時代における魅力ある都市と地域の創出を目的とした新しい都市・地域マネジメント事業を展開していく。

具体的には、ログウォッチャーが集積している位置情報データと、福山コンサルタントが得意とする都市交通コンサルティングのノウハウを活用し、都市活動の時間的、空間的な特性を把握できる「（仮）トランジションデータ」を開発。

その上で、このデータを子育て、医療、観光など都市・地域政策の課題を「見える化」して、EBPM（証拠に基づく政策立案）の推進など、行政の効果的な政策立案を支援する分析プラットフォームを構築する。

3社はこの二つのツールを用いて、SDGs（持続的開発目標）の政策立案や評価、都市開発マーケティング、店舗立地計画マーケティングなどのコンサルティングサービスを提供。

その一方で、SVI研究所が「（仮）トランジションデータを基に、仮想通貨やブロックチェーンなどの先端技術を組み合わせた都市・地域・コミュニティを活性化するための仕組みづくりに取り組む。

福島社長は「行政や民間企業が情報を適切・迅速に取捨選択できるビッグデータの活用と効果的なマーケティングが求められている。私たちがそうしたマーケットそのものを創造していきたい」と話している。



ログウォッチャーの酒田理人事業部長（中央）を要にして、握手を交わす福島社長（左）と伊藤社長